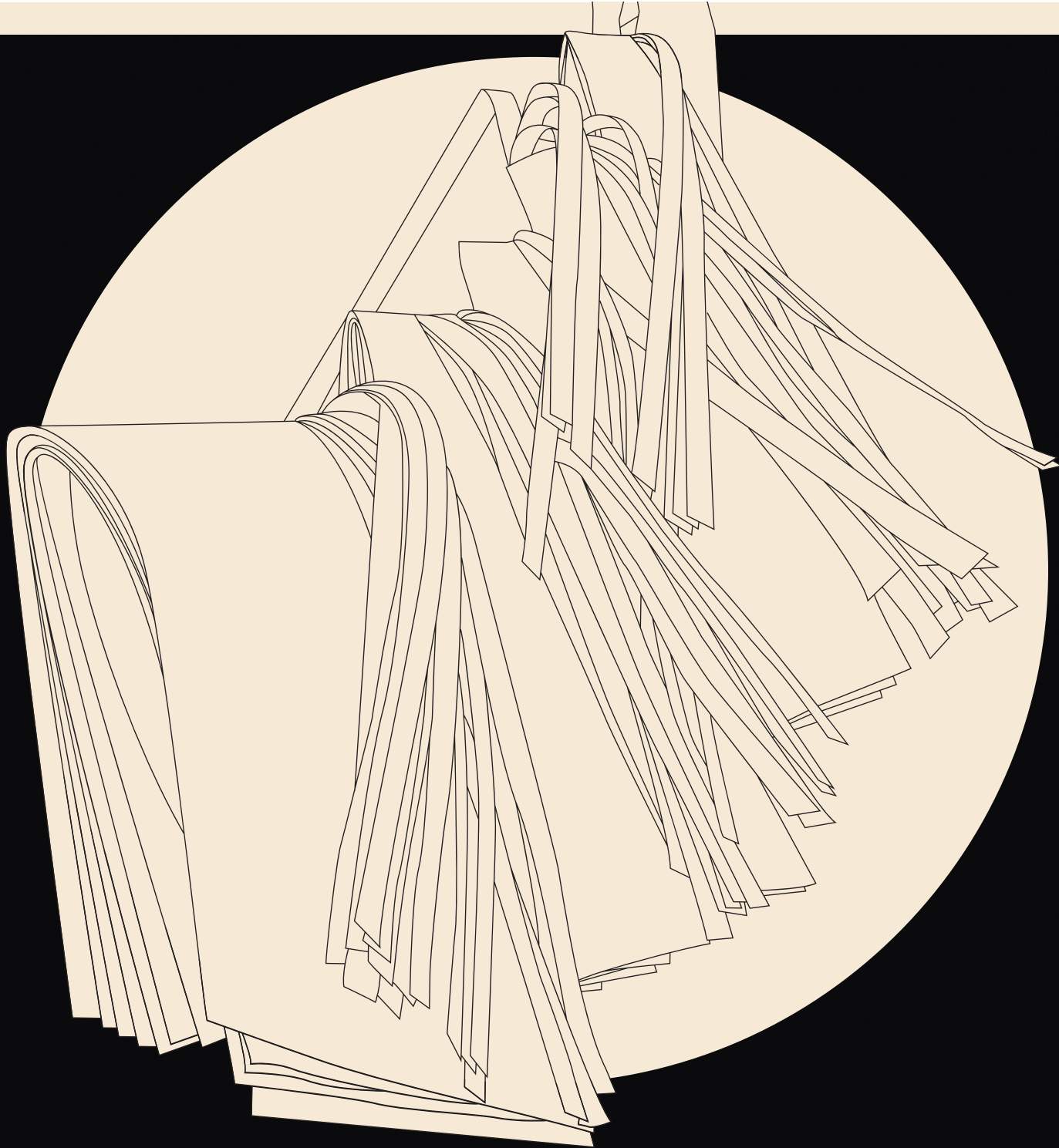


中之又神楽 —— 生を静に舞う



2024
11 / 26
火曜日
13:30
(開場 12:30)
17:30
観覧無料
要事前申込み
詳細裏面
全席自由
主催 宮崎県
共催 木城町
後援 芸能学会
国立能楽堂公演

KAGURA OF MIYAZAKI; NAKANOMATA KAGURA

National Noh Theatre / 2024, November 26 tue.

Free Admission *Reservation Required: Web or Tel



写真提供: 宮崎県教育委員会

中之又神楽

—— 生を静に舞う

【みやざきの神楽】
宮崎県は『古事記』や『日本書紀』に描かれた日向神話の舞台として知られ、神話ゆかりの伝承と共に、現在も200を超える神楽が伝承されています。各地の暮らしや風土を色濃く反映しながら大切に伝え継がれる神楽は、みやざきの「宝」であり、日本固有の無形民俗文化財としても多くの関心を集めています。
2022年、ユネスコ無形文化遺産登録に向け「全国神楽継承・振興協議会」が設立され、新たな動きが始まりました。今年で8回目を迎える国立能楽堂公演では、国の重要無形民俗文化財に指定されている「米良の神楽」から木城町の中之又神楽が奉納します。



写真提供: 高見乾司

みやざきの神楽 国立能楽堂公演 中之又神楽 —— 生を静に舞う

基調講演 新谷尚紀 国立歴史民俗博物館名誉教授

演目解説 小川直之 國學院大學名誉教授

神楽公演: 中之又神楽 国指定 重要無形民俗文化財 (米良の神楽として)

1948年生。民俗学者。主な著書に『伊勢神宮と出雲大社 - 「日本」と「天皇」の誕生 -』、『伊勢神宮と三種の神器 - 古代日本の祭祀と天皇 -』、『氏神さまと鎮守さま - 神社の民俗史 -』(以上講談社選書メチエ)、『葬式は誰がするのか - 葬儀の変遷史 -』、『民俗学とは何か - 柳田・折口・渋谷に学び直す -』(以上吉川弘文館)など多数。

専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県のみやざきの神楽魅力発信委員会委員長として、みやざきの神楽の保存継承や魅力発信に携わる。

毎年12月に、山岳の社「中之又鎮守神社」に奉納される中之又神楽は、社家と集落で暮らす氏子を中心に、山村留学で神楽を修得した子どもたちも加わり、夕方から次の日の午前中にかけて、夜通し三十三番の神楽が舞われます。今回上演される「獅子とり荒神」などは、狩猟儀礼が反映された演目で、この地区の特徴でもあります。

2024年 11月26日 [火] 開演13:30 終演17:30 (開場12:30) 国立能楽堂

お申し込み方法
Reservations

観覧無料
Free Admission

WEBまたはTELよりお申し込みください。応募期間: 2024年9月2日[月]~11月5日[火]
全席自由 ※一度にお申し込みできる人数は2名様まで。※応募多数の場合は抽選



WEB ◀ QRコードまたは下記URLよりお申し込みください

TEL 0985-22-1122 平日10-17時

<https://www.umkag.com/events/miyazaki-kagura-nougakudo/>

◎申込者名、郵便番号、住所、連絡先(TELまたはメールアドレス)をお知らせください。◎2名様でお申し込みの場合、申込者名・連絡先は2名様分必要です。◎当落通知はメールまたはハガキにてお知らせいたします。◎ご応募の際に頂いた情報は抽選結果の通知、受付対応以外に使用することはありません。

【お問い合わせ】「みやざきの神楽 国立能楽堂公演」事務局(株式会社UMKエージェンシー内) TEL: 0985-22-1122 ※平日10-17時



国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

JR: 中央・総武線 千駄ヶ谷駅より徒歩5分

地下鉄: 副都心線 北参道駅 出口1より徒歩7分

都バス: 早81・黒77 千駄ヶ谷駅前より徒歩5分